

令和6年度 立川市立第三小学校 学力調査等の分析について

調査名	児童の実態や課題	児童の実態や課題を受けて、目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
全国学力・学習状況調査	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平均正答率は、東京都、全国平均とともに下回った。</li> <li>○思考力・判断力・表現力等のB「書くこと」の正答率については、東京都、全国の平均を超えている。しかし、C「読むこと」の正答率は、大きく下回った。</li> <li>○選択式、短答式の問題形式の正答率は東京都、全国を超えているが、記述式の正答率は60%を下回った。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平均正答率は東京都、全国をともに下回った。</li> <li>○D「データの活用」については東京都、全国の平均点を10ポイント以上下回った。</li> <li>○記述式の問題になると正答率が下がる傾向にある。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○思考力・判断力・表現力</li> <li>○文章全体の構成や展開を考えて読んだり書いたりする能力</li> <li>○文章を要約したり、要旨をまとめたりする能力</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的、基本的な知識・技能</li> <li>○思考力・判断力・表現力</li> <li>○記述式の問題に対する読解力</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的をもって文章を読ませ、筆者の主張や中心となる文を捉えることができる指導の充実</li> <li>・筆者の主張に基づいた、自分の考えをもつことができる指導の工夫</li> <li>・自分の考えを表現させるため、書くことに重点をおいた指導の工夫</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の適用問題に取り組む時間の確保</li> <li>・自分の考えをノートに書き、それをもとに話し合ったり、発表したりする場面の設定</li> <li>・記述式問題を繰り返し行う時間、自分で問題を作成する時間の設定</li> </ul>
東京ベーシック・ドリル	<p>課題のある設問</p> <p>【2年生（1年生の指導内容）】 「ひき算」「おおいかず」「何時何分」</p> <p>【3年生（2年生の指導内容）】 「長さ」「図をつかって考えよう」「時こくと時間」</p> <p>【4年生（3年生の指導内容）】 「三角形と角」「かけ算の筆算」</p> <p>【5年生（4年生の指導内容）】 「垂直、平行と四角形」「面積」「がい数の使い方と表し方」「小数のかけ算とわり算を考えよう」</p> <p>【6年生（5年生の指導内容）】 「単位量あたりの大きさ」「平均」「比例」</p>	<p>【2年生】 問題の意図を捉えて答えたり、数の系列や大小を理解したりすることができる力</p> <p>【3年生】 基本的な単位換算の知識・技能、「12進法」「60進法」「24進法」の理解 問題文の読解をし、テープ図を使って立式することができる力</p> <p>【4年生】 図形を作図する力、乗法の筆算の仕組の理解</p> <p>【5年生】 図形の用語や意味の知識、面積の求め方における思考力・判断力・表現力 概数について理解し、四捨五入や四則計算の結果の見積もりをすることができる力</p> <p>【6年生】 問題文の読解力と「平均」の意味と求め方の理解 比例の関係について理解し、伴って変わる二つの数量の関係を表を用いて考える力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面をイメージさせ、それを半具体物で表出す活動</li> <li>・数学的表現を用いて説明する活動</li> <li>・基本的な単位換算表の掲示、時刻と時間を可視化し、正確に読み取ることのできる指導</li> <li>・問題場面を具体物や半具体物でイメージしたり、半具体物を操作したりして、児童が考える指導の工夫</li> <li>・図形の作図、部分積を書く位置などの繰り返し指導</li> <li>・図形を見る観点として、辺の相等や並び方に加え、「対角線の交わり方」に児童が着目する指導</li> <li>・日常生活の場面の目的に応じて、概数を用いることで定着につなげる指導</li> <li>・前学年の関連する指導内容を見て、つまづいている内容に焦点を当てた補足的な指導</li> <li>・数直線を用いて、量感を伴って理解できるようにする指導</li> </ul>
東京都児童・生徒体力・運動能力調査	<p>全体としては、全国平均・東京都平均と比べると、同等もしくは低くなっている。低い項目は「20mシャトルラン」、「反復横跳び」、「ソフトボール投げ」が課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持久力の向上</li> <li>○巧緻性</li> <li>○投動作の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動での動きを持続する運動、巧みな動きの運動に重点を置いた指導</li> <li>・ゲーム、ボール運動領域における投動作の機会の確保</li> <li>・ゲストティーチャーを活用し、児童の意識を高める活動</li> </ul>